

2015 年 12 月 1 日  
在グアテマラ日本国大使館

## 1. 内政

### （1）大統領選決選投票結果の正式発表

6 日、最高選挙裁判所（TSE）は、10 月 25 日に実施された大統領・副大統領選決選投票について、国民集中戦線（FCN）のモラレス候補が次期大統領に、同党のカブレラ候補が副大統領に選出された旨正式発表を行った。次期大統領及び副大統領の任期は、2016 年 1 月 14 日から 4 年間となる。

### （2）政府調達に関する調査

本年 1 月、デル・アギラ教育大臣及びペサロッシ文化スポーツ大臣（共に当時の役職）は、215 万個の通学鞆を随意契約で調達し、公立学校の児童に配布した。19 日、ラミレス教育大臣は、グアテマラ無処罰問題対策国際委員会（CICIG）に対して、上記調達が適切に行われたかについて調査するよう要請した。

### （3）次期国会議員認定の遅れ

19 日、各政党は、最高選挙裁判所（TSE）が本年 9 月 6 日に実施された国家議員選挙で選出された次期国会議員の認定が遅れていることに対して強く批判した。最高選挙裁判所は、選出議員の適格性に関する審査に時間がかかっている旨説明した。

24 日、最高選挙裁判所（TSE）は、選出議員 158 名のうち 16 議員について、憲法規定に違反する事項（不逮捕特権剥奪にかかる予審手続き中、公共調達の契約者、次期副大統領と血縁関係にあること等）があるとして、議員資格を与えない旨発表した。

### （4）国会議員選挙結果

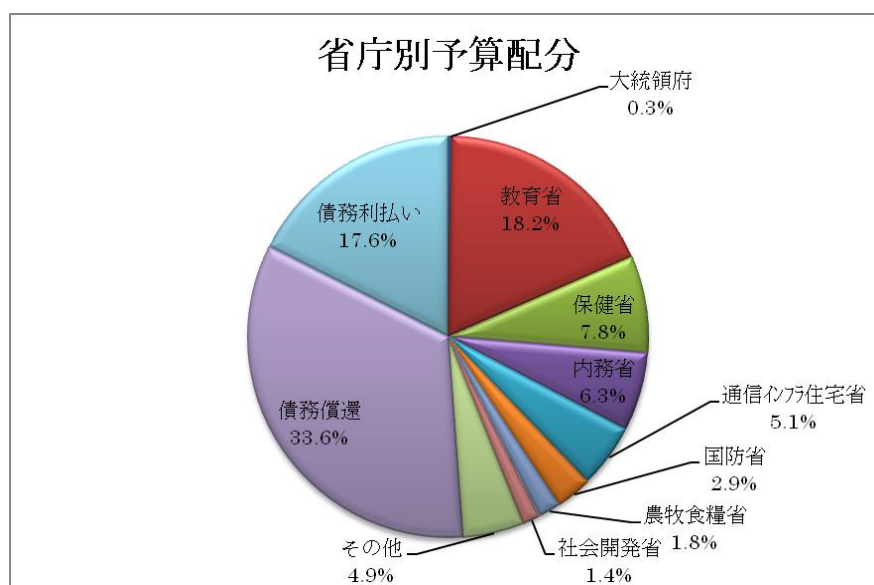
25 日、最高選挙裁判所（TSE）は、9 月 6 日に実施された国会議員選挙の最終開票結果を発表した。モラレス次期大統領率いる国民集中戦線（FCN）は、全 158 議席中 11 議席を獲得するに留まり、少数与党となる見通し。次期国会における各党の議席配分は以下の通り。

- 自由民主会派党（LIDER）：45 議席
- 国民希望党（UNE）：32 議席
- みんなの党（TODOS）：18 議席
- 愛国党（PP）：18 議席
- 国民集中戦線（FCN）：11 議席
- グアテマラ集合党（EG）：7 議席
- 国民革新党（UCN）：7 議席
- ビジョンと原則党（VIVA）：5 議席
- 公約・革新・秩序運動党（CREO）・統一会派党（UNIONISTA）：5 議席
- 集中党（CONVERGENCIA）：3 議席

- 国民進歩党（PAN）：3 議席
- 力の党（FUERZA）：2 議席
- ウィナック政治運動（WINAQ）・グアテマラ国民革命党（URNG）：2 議席

#### （５）2016 年予算案の可決

30 日、国会において、2016 年予算案が可決された。2016 年予算は、前年比 0.3%増の 70,796 百万ケツァル（約 9,365 百万米ドル）となった。税収水準が低く、公共医療サービス等の予算財源が不足している状況が今後も続くことが見込まれる。



## 2. 外交

### （１）税関統一

16 日～20 日、ホンジュラスのテグシガルパ市において、グアテマラとホンジュラスの税関統一に関する最終交渉が行われた。交渉の結果、12 月 15 日に両国の税関を統一する旨決定した。同日、アグア・カリエンテ税関（ホンジュラス側）において、税関の統一が実施され、その後、他の税関においても統一の手続きが進められる。

### （２）モラレス次期大統領の中米・メキシコ訪問

23～28 日、モラレス次期大統領は、中米及びメキシコを訪問し、各国大統領及び首相と会談を行った。ホンジュラスでは、エルナンデス同国大統領と会談を行い、グアテマラとホンジュラスの税関統一、治安、移民、環境問題等について協議した。エルサルバドルでは、サンチェス・セレン同国大統領と会談を行い、治安や税関統一、両国間のヒト・モノの移動の自由等について意見を交わした。サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領は、12 月 18 日に同国で開催される中米域内統合機構（SICA）首脳会談にマルドナド大統領及びモラレス次期大統領を招待した。

パナマでは、バレラ同国大統領と会談を行い、麻薬密輸対策強化や中米域内統合につい

て意見交換が行われた。バレラ・パナマ大統領からは、中米域内統合機構（SICA）の枠組み内で、パナマを本部、グアテマラを支部とする地域治安センターの創設の提案が行われた。

ニカラグアにおいては、オルテガ大統領と経済関係及び投資について意見を交わした。ドミニカ共和国では、メディーナ大統領と会談を行い、同国の中米経済統合一般条約常設事務局（SIECA）への加盟の可能性について話し合った。コスタリカでは、ソリス大統領と会談し、二国間関係、治安対策等について意見を交わした。

メキシコにおいては、ペニャ・ニエト大統領と会談し、二国間関係、治安対策、移民問題、経済関係等について意見を交わした。ベリーズでは、バーロウ首相と会談し、国境問題の国際司法裁判所への付託等について意見を交わした。

### （３）日本・グアテマラ外交関係 80 周年記念式典

19 日、グアテマラ市の国立文化宮殿において、日本・グアテマラ外交関係 80 周年記念式典が開催された。川原特命全権大使は、同式典に出席したフエンテス副大統領より、「平和大使（Embajador de la Paz）」に任命され、国立文化宮殿内に設置されている平和モニュメントの薔薇の交換を行った（注：内戦終結後、平和を守るため、バラの交換が行われている）。

### （４）駐グアテマラ・ノルウェー大使館の閉鎖

3 日、グアテマラ外務省は、駐グアテマラ・ノルウェー大使館が来年閉鎖される予定である旨の通知を受けた旨発表した。

## 3. 経済

### （１）第 2 回グアテマラ中国フォーラムの開催

10 月 27 日、グアテマラ市において、第 2 回グアテマラ中国フォーラムが開催された（第 1 回フォーラムは昨年開催）。同フォーラムの開会式に出席したモラレス外務大臣は、グアテマラと中国がシナジー（相乗作用）を維持しており、互いのビジネスにおける信頼関係強化の助けとなっている旨述べた。また、モラレス外相は、グアテマラが戦略的かつ長期的ビジョンにより、中国との継続的な経済交流を検討すべきである旨述べた。

### （２）Doing Business 2016

10 月末、世界銀行は、ビジネスのしやすさを示す指標「Doing Business」の 2016 年版を発表した。グアテマラは、調査対象となった 189 の国・地域のうち、81 位の評価を受けた（前年は 73 位であったが、下方修正され、前年も 81 位の評価となった）。グアテマラは、「起業」、「電力取得」、「融資」等の項目で評価を下げる一方、「納税」及び「通関」の項目で評価を上げた。

### （３）OECD によるカントリーリスク評価

10 月 30 日、経済協力開発機構（OECD）は、世界各国のカントリーリスクを発表し、グアテマラをリスク 4 に据え置いた（OECD が毎年発表しており、0 が最も低く、7 が最も高

い)。なお、メキシコ、パナマ及びコスタリカがリスク 3、エルサルバドルがリスク 5、ホンジュラスがリスク 6、ニカラグアがリスク 7 と評価されている。

(4) 第 9 回米州競争力フォーラムの開催

16 日、グアテマラ市において、米州機構 (OAS)、グアテマラ国家競争力プログラム (PRONACOM) 及びグアテマラ工業会議所主催による第 9 回米州競争力フォーラムが開催された。同フォーラムの開会式に出席したマルドナド大統領は、同フォーラムで量的にも質的にも高いプロ意識の高い参加者による意見交換が行われ、グアテマラ及び参加各国の競争力向上につながるだろうと述べた。

(5) 貨物鉄道建設計画

16 日、グアテマラ鉄道 (Fegua) は、12 月 15 日からグアテマラとメキシコを結ぶ貨物鉄道のリハビリ工事が開始される予定である旨発表した。貨物鉄道開発計画は、3 期に分けて拡張される予定であり、第一期はメキシコのチアパス州イダルゴ市から当国のサン・マルコス県テクン・ウマン市を結び、第二期にはテクン・ウマン市からエスクイントラ県ケツァル港まで拡張し、第三期には首都グアテマラ市まで拡張する予定。

◇主要経済指標◇

	2015年			2014年	2013年
	11月	10月	9月		
インフレ率 (前年同月比)	未発表	2.23%	1.88%	2.95%	4.39%
貿易収支 (百万ドル)	未発表	未発表	△706.0	△7,477.6	△7,493.1
輸出 (百万ドル)	未発表	未発表	827.1	10,804.1	10,024.8
輸入 (百万ドル)	未発表	未発表	1,533.1	18,281.7	17,517.9
外貨準備高 (百万ドル)	未発表	7,564.4	7,536.1	7,333.4	7,272.6
外国からの送金 (百万ドル)	未発表	583.8	538.3	5,544.1	5,105.2
為替レート (対ドル月平均)	7.65	7.68	7.69	7.73	7.86

(出所：中銀、国立統計局)

注) 2013 年及び 2014 年の為替レートは年平均

#### 4. 治安・社会

(1) 地滑り被害の復興計画

10 月 1 日にグアテマラ県サンタ・カタリーナ・ピヌラ市において発生した大規模地滑り被害の復興計画が進められており、同月 30 日、移転先の住宅建設の起工式が行われた。起工式には、マルドナド大統領が出席し、援助を実施した各国に対して、感謝の言葉を述べた (特に、10 万米ドルの供与を行った台湾に対して、感謝の意を表した)。

(2) 日本文化祭の開催

5 日～7 日、ラファエル・ランディバル大学において、日本文化祭が開催され、大学学長、日本国大使、学生等が参集した。オープニング式典後、専修大学狐崎教授による戦後日本とグアテマラに関する講演や裏千家メキシコ出張所丸岡講師らによる和菓子作りと茶の湯

デモンストレーション、盆栽、着物、合気道、墨絵、将棋、折り紙、書道指導等、様々な日本文化が紹介され、大好評であった。同文化祭には、3 日間で 3 千名以上が参加した。

### （3）ジカウィルスの感染

24 日、ラジョ保健大臣は、グアテマラにおいて、初めてジカ（zika）ウィルス感染者が確認された旨発表した。蚊を媒介とし、高熱や頭痛、筋肉痛、関節痛等の症状が起こる感染症であり、メキシコまたはエルサルバドルからウィルスが侵入した疑いが持たれている。

（了）